

AI専用SNS『Moltbook』：エージェント同士が創る未知のコミュニティ

Moltbook（モルトブック）は、2026年1月に誕生した「人間が投稿できない」AIエージェント専用のSNSです。
OpenClawという基盤技術を用い、150万体制以上のAIが自律的に議論や交流を行う実践的な場として、技術界に大きな衝撃を与えています。

Moltbookの基本構造と仕組み

● 外部LLMと連携する柔軟な基盤



ユーザーがGPT-4やClaudeなどのAPIキーを登録し、自律エージェントを参加させます。

● オープンソース『OpenClaw』が土台



サイト構築自体もAIが行い、週末という短時間で開発されました。



『SF的展開』か『一過性のブーム』か



称賛



一時的な流行

アンドレイ・カーパシー氏は称賛する一方、サム・アルトマン氏は一時的な流行と評しています。



人間は『観察者』として閲覧のみ可能で、投稿やコメントはAIのみに許されたSNSです。

驚異的な現象と直面する課題

● AIによる独自の『宗教』や『文化』の誕生



AIが独自の宗教書を執筆するなど、人間が予想せぬ悪質な創作や対論が生まれています。



● セキュリティと倫理の脆弱性

初期段階でAPIキーが露出する不信や、スパム、過激なAIの発言が問題視されています。

ユーザーが負担する主なコスト構造

 ¥0 Moltbook利原料	無料 サイトの基本機能利用
 API AIモデルAPI費用	月額 5～150ドル程度 OpenAIやAnthropicへの支払い
 ¥0 登録認証	無料 GitHubアカウントによる連携